

釧路南ロータリークラブ会報

第3回 例会報告 2010.7.16 通算 1357回

・点 鐘 木内会長

・ロタリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 工藤 ゆかり会員

・新入会員入会式

新入会員 佐藤 了 (S28. 6. 28 生)

佐藤保険事務所 代表 総合保険業



■新入会員紹介 木内会長

今年度初めての会員を迎えることができ、大変うれしく思っております。佐藤 了さんのスポンサーは私ですが、20年来の御付き合いをさせてもらっていますが、学校の先輩でもあり、仕事に面でも最後まで手を抜かない、努力家です。早く会になじみ会の為に貢献してくれることを信じておりますので皆様もご協力のほどをお願い致します。

・入会記念祝

和田 優会員 S60. 7. 19 (25年目)

・会 長 挨拶



皆様こんにちは、先週ガバナー公式訪問、大変ご苦労さまでした。今年度、第一例会が表敬訪問、第二週がガバナー公式訪問と市内クラブ表敬訪問と気の張った2週間がようやく終わりました。

また、7月30日に白糖、8月2日に音別の表敬訪問が残っております。今日は新入会員の入会式が行われます。

大変お話しづらいことですが、船戸会員が退会届けを工藤ゆかりパスト会長へ郵便にて受取りましたが、6月末福井さんと工藤さんと3人で自宅に伺い説得をしましたが、意思が固く、大変残念な形になりました。また次の日の新聞報道で村上建設の破綻を見た時、船戸さんはその事を知っている決断だったのかもしれない。今までの貢献に感謝いたします。話は変わりますが、7月9日ガバナー公式例会終了後理事会が開催されましたので報告させていただきます。議題として、船戸会員の退会届が届き、理事会にて承認されました。また、ロータリー財団、米山委員会の船戸委員長が退会の為、花田会員にお願いすることに決定致しました。理事の欠員が生じるため、同じく花田会員に理事をお願いすることになりましたのでご報告致します。

次の議題は来年行われるIM開催を昨年と同じく8分区と合同にするか、7分区単独にするか、ガバナー補佐へ報告することになりましたが、第2回会長幹事会では、釧路RC、釧路西RC、白糖RCは単独で開催を行うと返答、他のクラブは即答を避けクラブごとにガバナー補佐へ報告となっております。理事会では単独での開催に決まりました。以上、会長挨拶と理事会の報告とさせていただきます。

・幹 事 報 告



- * 先週はガバナー公式訪問例会お疲れ様でした。また、会員の皆様にご協力をいただき無事終了することができました。ありがとうございました。
- * 先程会長からもお話がありましたが、本日佐藤さんが新しく当南ロータリークラブに入会されました。おめでとうございます。これから南クラブの一員としてご活躍されることを会員一同願っておりますのでよろしくお願い致します。
- * 2010年規定審議会において採択された制定案10-27により、クラブ定款第9条(出席)第5節(出席の記録)が改正されました。また採択された制定案10-21および10-23により同条第3節(a)および(b)がそれぞれ改正されましたので、以下に変更箇所を記載します。ということで出席率の算出の改正に関する書面が届いております。後程回覧でまわしますのでよろしくお願い致します。
- * 7月10日土曜日18時30分より釧路北ローターアクトクラブ様に、会長と二人で表敬訪問に行って参りましたのでご報告いたします。
- * 厚岸RC、釧路RC、釧路西RCより会報及び活動報告書を拝受しております。
- * 活動計画書のクラブ収支予算表に訂正がありました。新しい物をレターケースに入れてありますので差替えをお願い致します。
- * ガバナー公式訪問例会の記念撮影の写真をレターケースに入れてありますので、よろしくお願い致します。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

和田 優会員 入会記念祝として
長倉巨樹彦会員 長江 勉会員 工藤ゆかり会員
佐野 実会員 北上 俊一会員 花田 善廣会員
木内 治彦会員 福井 克美会員 長井一広会員

出席委員会

会員25名 16名出席 出席率64%

・本日のプログラム

「ガバナー公式訪問の反省・新入会員入会式」

担当 会長・幹事

■木内会長



7月9日（金曜日）朝9時、釧路ロイヤルインに到着し間もなく、柴田ガバナー、茨木地区幹事、川島ガバナー補佐が10階の会長幹事懇談会会場に到着しました。9時15分からガバナー一人と、会長幹事にて懇談会が始まり、ガバナー補佐、地区幹事は退席、3人だけの懇談会となりました。内容的には地区活動基本方針の5項目を中心にお話があり、小クラブが衰退しないように大きいクラブがサポートし、IM開催、ガバナー、ガバナー補佐を選出することが出来るように地区の活性化、地区指導者育成を行ってくださいとのことです。

釧路南ロータリークラブの会長方針についてのお話はなく、よく出来た活動計画書とのことです。質問をされることもなく、時間が終わり、10時30分クラブ協議会が開催、長倉会長エレクトの司会、進

行で各委員長の活動方針が発表を行い、ガバナーの講評をいただき、小野副会長の謝辞で閉会となりました。12時30分からは公式訪問例会となり、無事にこなせたと思っております。

ただ一点あげるとしたら、懇談会終了時に会長として時間の余裕がなく、会員に準備を任せきりになり、ご迷惑をお掛けしたと思っております。自分なりに、タイムスケジュールを作り、本番を向かえ会員との打ち合わせが足りなかったと反省することです。また、協議会もCLP導入二年目でもあり、委員会の数が減ったこともあり、各委員会の発表時間の配分も少し考えなければならぬ部分もあると思っておりますが、次年度の長倉会長エレクト時に役立ててもらい次年度につなげて行ければと感じております。簡単ではございますが、ガバナー公式訪問の反省発表とさせていただきます。

ありがとう御座います。

■菅井幹事



こんにちは。先日ガバナー公式訪問例会を終えました。まずは会員の皆様お疲れ様でした。また、皆様にご協力いただき無事に終えることができました。ありがとうございました。ガバナー公式訪問の前日から、会長と会場のセッティング等を行いました。不手際はなかったか、失礼なことはなかったか、と今でも考えています。柴田ガバナーからは以前先輩方からも言われていましたが、幹事が要なんです。幹事が会長をしっかり補佐しその年度の会を運営していく、引っ張っていくんだと言われ、以前にも増して責任の重大さを痛感しております。

それから、大きなクラブが何事も中心にやるのではなく、もっと小さなクラブに目を向けていきたいとおっしゃっていました。小さなクラブには優れた人材がたくさんいる。小さなクラブからガバナー等を輩出したり、大きな行事も小さなクラブが中心に行い、大きなクラブにお手伝いをお願いします。柴田ガバナーは小さなクラブにより目を向け、活躍できる場を作っていきたいと抱負を述べられました。私はすごくよい事だと思いましたし、柴田ガバナー年度が何か今までとは番う風を吹かせてくれるような気がしています。南クラブも小さなクラブではありますが、全国には南クラブよりまだまだ小さなクラブが沢山あるそうです。その小さなクラブが合併もせず、解散もせず自分達で頑張っていくと言っているそうです。本当にそういうクラブが中心となり、活躍できる年度になってほしいと思いますし、南クラブもそういうクラブであり続けたいと思います。今年度の南クラブの最重点目標は会員増強です。全会員が一丸となり目標を達成することは勿論ですが、小さなクラブでも強いクラブを目指していきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

■SAA 工藤 ゆかり



佐藤さん釧路南ロータリークラブ入会おめでとうございます。ロータリーには出席の義務、奉仕の義務、ロータリーの友を読む義務などありますが、まずロータリーを楽しんで下さい。そして、友を沢山作って頂きたいと思います。

先週は国際ロータリー第 2500 地区第 7 分区の釧路南ロータリークラブのガバナー公式訪問でした。ガ

バナー公式訪問では、特に反省はございません。木内会長・菅井幹事・会員皆様のご協力にて無事終了する事ができたと思います。

私はSAAということで、10階の休憩室に柴田ガバナーと川島ガバナー補佐と茨木地区代表幹事の3名を送り迎えさせて頂きました。その時に柴田ガバナーと少しお話をさせて頂きました事を、皆様にお話させて頂きます。まず、私と柴田ガバナーとは3年前の足立ガバナーの時に、私が会長エレクトで柴田ガバナーがノミニとして、清水幸彦パストガバナーの仲介で初めてご挨拶させて頂きました。その後は、様々な集まりの中で、声を掛けて頂き、ごあいさつさせて頂きました。柴田ガバナーはとても気さくなお方で、やさしさが伝わり、本当に素晴らしいガバナーです。柴田ガバナーとは、釧路と帯広の景気のお話、そして女性会員のお話、女性ガバナーのお話と柴田ガバナーのお孫さんのお話もして頂きました。柴田ガバナーには、お身体と健康にお気を付け1年間頑張りたいと願います。

さらに、木内会長と菅井幹事には、川島ガバナー補佐と一緒に1年間頑張りたいと思います。

■クラブ管理委員長 佐野 実



ガバナー公式訪問の反省ということですが、会長・幹事の事前の準備がよく反省するところはなく、とどこおりなく終了したと私思います。年度初め第二回目の例会でのガバナー訪問は二度目で、私が会長を務めた2007年の海田ガバナーの時も7月13日で二度目の例会日でした。その時は長倉幹事には大変お世話になり、ありがとうございます。

クラブ協議会では、始まる前に会員同士が最終確認をしているのが印象的でした。協議会が始まり役員と各委員会の活動計画の発表が終わり、ガバナーの講評の中で南クラブのCLP導入の委員会構成が、南クラブ規模に合っていてこれで良いとのお話がありました。今年度木内会長は、委員会を合併させ前年度より少なくして、会員の負担を減らしていますが、現状は長期欠席者が数名いて、委員会構成はこれでもギリギリだと思います。

公式訪問例会ではガバナー自身の職業の話も聞き、ロータリー歴を見ますと25年間100%出席です。さすがガバナーになる人は違うなと思います。新年度スタートしたばかりで大きな行事が終わり、一番ほっとしているのは会長・幹事だと思います。

また、今日は新入会員の入会式と、絶好調のスタートです。1年間この勢いで頑張ってください。

さて、今回の公式訪問ですが、会長幹事会やクラブ協議会にガバナー補佐が主導権を持っていなかったのが驚きました。ガバナー補佐は、激務となるガバナーを「補佐」する責任を負うために、ガバナーから任命される役職です。2002年度からガバナー補佐制度が実施されていて、ガバナー補佐が、ガバナーの責務を分担することで、より柔軟性をもった公式訪問が実施できるようになるという効果をもたらしています。ガバナー補佐制度になってからは、ガバナーに代わりガバナー補佐が指導する立場になっているはずでしたが、ここ数年間は昔のスタイルに戻ってしまっているようです。

今回のガバナー公式訪問で、ガバナーから地区目標の財団への協力で具体的な数値目標はありませんでしたが、当クラブとしては、一人百ドル以上を目指して参りたいと考えていますのでご協力をよろしくお願いいたします。

■奉仕プロジェクト委員長 福井 克美



柴田和明ガバナーとは、2004年の牧野ガバナー年度と一緒にガバナー補佐を務めていました。

一見怖そうな感じがしますが、とても優しい方です。ガバナー補佐会では、いつも隣り合わせに座ることが多く、6分区が柴田さん、7分区が私で、8分区に浜中の関上さんと並んでいましたので話をする機会も他のガバナー補佐より多くありました。

当時のGSE受け入れで、アメリカのサクラメントからGSEメンバー5名が来たときも、帯広から柴田さんが付き添いで同行してきてくれて、一緒に昼ごはんを食べたことを思い出します。ガバナーからGSEの話がありとても懐かしく感じました。



・次回のプログラム

7月23日(金)

「新入会長卓話 佐藤 了君」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：クラブ運営委員会

・点 鐘 木内会長
今週の会報担当：佐藤玄史会員